

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	21631
事業名	(公社)札幌市シルバー人材センター運営補助金					
評価担当課	所属名	経)産業振興部 雇用労働課				
	課長名	佐々木 薫	担当者名	伊藤 大輔	電話番号	011-211-2278
施策名	主	誰もが活躍できる社会の実現				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	国と協調した補助金を交付し、札幌市シルバー人材センターの運営を支援する。			
		長期	札幌市シルバー人材センターの安定的な運営を通じて、高齢者の就業機会を確保し、生きがいの充実と健康の増進を図る。			
	取組内容	札幌市シルバー人材センターは、高齢者が就労を通じた社会参加により、自らの生きがいの充実と健康の増進を図るとともに、活力ある地域社会作りに貢献することを目的として設立された団体である。当該団体は、働く意欲の旺盛な高齢者が会員となって組織を作り、運営に当たっては会員からの会費や地域社会からの臨時的・短期的・軽易な業務の受託に係る手数料のほか、国及び札幌市からの補助金により行われている。本事業はこの補助金を交付する事業である。				
	実施結果	年間受注額 : 1, 198, 863千円(請負:795, 051千円、派遣:403, 812千円) 延べ就業人員:236, 645人(請負:165, 508人日、派遣:71, 137人日)				
事業実施における工夫点	国の制度と協調して行う補助金交付については、札幌市の補助金の補助対象経費を国補助の補助対象経費と一致させている(一部経費は国補助対象外のため市単独補助)。					
対象者	高齢者	開始	昭和55年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	高齢者等の雇用の安定等に関する法律					
他都市の状況	国庫補助を受けているシルバー人材センターを設置している全ての市町村は、運営に係る経費の一部を補助している。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	34,223	35,000	35,000	50,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.8	0.8	0.8	0.8	
人件費	5,760	5,760	5,760	5,760	
計(事業費+人件費)	39,983	40,760	40,760	55,760	
事業費の内訳	令和3年度決算	予算額 35,000千円 <内訳> 運営費補助金 35,000千円			
	令和4年度予算	予算額 50,000千円 <内訳> 運営費補助金 35,000千円 移転に関する経費補助 15,000千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	補助金交付額(単位:千円)		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	33,922	35,000	35,000	50,000
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名	受注金額(単位:百万円)		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
	1,288	1,550	1,199	1,600
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	令和3年度札幌市シルバー人材センター実績は以下のとおり。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少傾向にあるものの、相当規模の高齢者の就業機会を創出しており、高齢者の就労促進に寄与している。 年間受注額 : 1, 198, 863千円(請負: 795, 051千円、派遣: 403, 812千円) 延べ就業人員: 236, 645人(請負: 165, 508人日、派遣: 71, 137人日)		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	補助金額は会員数や事業実績に応じて国が示す基準内の額としていることから、事業規模は適当である。補助対象経費についても、一部を除いて国補助の対象経費と同一としている。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	国事業(高齢者の就労機会確保)において補助金交付の対象となる団体は、市内に札幌市シルバー人材センター以外に存在しておらず、当該センターでは国・市の補助金を活用し、高齢者の就業機会を創出しているところである。札幌市シルバー人材センターにおいては、就業機会の拡大に向けた取組を強化していく。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	B	札幌市シルバー人材センターでは、年度末に全会員に対して会員継続調査を毎年行っているが、本調査では、仕事の提供を望む意見・要望等が寄せられていることから、会員への就業機会提供が課題となっている。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映			
今後の改善点	会員数が減少傾向にあることから、会員増加に関する取組を強化するとともに、会員に対する就業機会確保のため、引き続き派遣事業の拡大及び多様な業務の受注増加に努めていくことが必要である。			
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、会員数や受注金額が減少しているものの、相当規模の高齢者の就業機会を創出しており、高齢者の就労促進に寄与している。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 高齢者の就労及び生きがいづくりを促進し、人材派遣事業の拡大によって企業の人材確保においても効果的であることから、引き続き国の補助制度と協調した補助を継続していく。		
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 国の補助制度の改正等を注視する。		見直し効果額 0 千円